

生活発表会 ひまわり組の取り組み



文 ますだ ゆうこ
絵 あべ ひろし
出版社 そうえい社

あらすじ…

ねこのおいしゃさんから病気を治してもらい、そう、きつね、わにが次々に自分たちもおいしゃさんになり治療をします。さあ、どんな病気が治っていくのかな？

ねこのおいしゃさん ～ひまわり組バージョン～

「ねこのおいしゃさん」のパネルシアターを観たことをきっかけに子どもたちは色々な動物をおいしゃさんにした“♪替え歌”を歌い始めました♪
そして、生活発表会は「ねこのおいしゃさんしよう!」ということになりました



ねこの赤ちゃん

ねこのおいしゃさんのお話に必要なものは何かな？
みんなで考え、色々な意見が出たのでまずは背景の木を作ること！



ちょっと
みてみましょう!!

お医者さんが、患者さんの様子を
よく診てみる場面では…



みて！みて！
ぼくの手が木になっちゃった!!



どの動物もおいしゃさんになり、
自分がおいしゃさんになった時には、
他の動物に負けないぐらい
全身を使って表現を考えます!!
みんなで考える表現が楽しいですね。

「森の中だから木を作ろう!!」「病院に入るドアは？」など…
クラスみんなで分担して作りました。
小道具も役ごとの仲間で一緒に考えながら作りました。

私のわにの口が
一番大きいよ

手はどうやって
動かす？



わにの口をどんな風にしようか相談中!!
大きな口が開けられるとみんなから歓声が…!
褒められると嬉しくて、口がどんどん開いちゃいます♪

練習が進み中で台詞や動きを合わせようとする姿が見られるようになり、役ごとの練習時間では、自分たちで集まって動きの相談がはじまりました。

ひまわり組バージョンとしての見どころは…??
おいしゃさんが順番に交代していくところ!

役を決める前は、「ねこのおいしゃさん」に人気が集まるかと思っていましたが、子どもたちから「全部の動物がおいしゃさんになるのがいい!!」と意見が出ました。また、やってみたい役なども自分たちで考え、どの動物がどんな病気になって治療するかみんなで話し合いました。その中で普段から親しんでいる歌なども劇の中に入れたい!と子どもたちから意見が出てきて、だんだん遊びが盛り上がってきました。役ごとに集まり、表現の仕方を考えたり、覚えにくい台詞を自分たちなりに言いやすい言葉に変えたりする場面もありましたよ!当日は、恥ずかしかったり、普段より張り切って頑張る姿などを見ながら練習風景を思い浮かべてもらえると嬉しく思います。